

〒150-8050

東京都渋谷区神南 1-1-1 日本体育協会

スポーツ指導者育成部（スポーツドクター・AT 担当） 行

出席確認カード在中（28 回臨スポ）

【送付用 1/2】

FAX 送信先:03-3481-2284

送付期限:2017 年 11 月 28 日(火)



※ 郵送の際は、上記を切り取ってご使用ください。

日本体育協会公認スポーツドクター・アスレティックトレーナー義務研修

第 28 回日本臨床スポーツ医学会学術集会

出席確認カード

登録番号（7 桁）								生年月日（西暦）
フリガナ								年 月 日
氏名								
保有資格 （〇をつけてください）		公認スポーツドクター						
		公認アスレティックトレーナー（JASA-AT）						

<ネームカード貼付欄>

- ※ 必ず学会ネームカードのコピーを貼付してください。参加証、領収証、領収証控、公認スポーツ指導者登録証は不要です。
- ※ JASA-AT は BLS 資格の認定証(写)を併せて貼付してください。貼付がない場合、義務研修を受講したことになりません。

<ネームカード>

<BLS 資格認定証(JASA-AT のみ)>

裏面も必ずご記入ください。

第1日 11月18日(土)						
No.	セッション	講演タイトル	開始時刻	終了時刻	所要時間	聴講
1	共催シンポジウム	スポーツ中の突然死0を目指して～アスリートの視点、医療者の視点～	8:40	10:10	90分	
2	教育講演3	野球肘の診断と治療	8:40	9:40	60分	
3	パネルディスカッション1	臨床スポーツ医学における精神科への期待	8:40	10:10	90分	
4	シンポジウム5	アスリートの体幹安定性の評価	8:40	10:10	90分	
5	シンポジウム1	我が国における投球障害(肩・肘)の現状と対策	9:50	11:20	90分	
6	教育講演1	色覚の多様性とカラーユニバーサルデザイン(CUD)	10:20	11:20	60分	
7	シンポジウム3	スポーツにおける医療訴訟－何が問題なのか、何に注意すべきなのか－	10:20	11:35	75分	
8	シンポジウム6	ACL再建術後のプロトコル再考	10:20	11:35	75分	
9	ランチョンセミナー1	横浜DeNAベイスターズ～横浜スポーツタウン構想について～	11:40	12:40	60分	
		スポーツを軸とした大学改革				
10	ランチョンセミナー2	乳酸菌B240がヒトの生態防御機能に及ぼす影響 ～防衛体力の向上がトップアスリートのコンディショニングを支える～	11:40	12:40	60分	
11	ランチョンセミナー3	熱環境下におけるスポーツ中の筋痙攣は水分補給で予防できるか？ －基礎的研究からの考察－	12:00	13:00	60分	
12	ランチョンセミナー4	膝前十字靭帯再建術-Joint Instability Measurement Interfaceの開発経験より-	12:00	13:00	60分	
13	ランチョンセミナー5	現場で遭遇する成長期の下肢スポーツ障害・外傷	12:00	13:00	60分	
14	会長講演	脳震盪の目撃者	13:15	13:30	15分	
15	招待講演1	新しいスポーツ行政のカタチ～Tokyo2020と、それ以降に向けて～	13:30	14:30	60分	
16	特別講演1	2020年に向けて	14:40	16:10	90分	
17	教育シンポジウム	スポーツの現場における医療行為と関連法	14:40	16:10	90分	
18	ワークショップ	女性スポーツメディカルスタッフネットワーク	14:40	16:10	90分	
19	教育講演4	スポーツにおける「視覚」の働き－30年のスポーツビジョン研究を振り返って－	14:40	15:40	60分	
20	シンポジウム7	スポーツ中の内因性重大事故に関する登録制度 J-SPORTSCAR STUDY	14:40	16:10	90分	
21	教育講演5	アンチ・ドーピング活動の現状	15:50	16:50	60分	
22	教育講演2	テニスは健康に有益か否か？と手・肘の障害について	16:20	17:20	60分	
23	シンポジウム2	アスリートの脊椎障害と脊髄外傷	16:20	17:50	90分	
24	シンポジウム4	スポーツにおけるヨガ・ピラティスの可能性	17:00	18:10	70分	
25	委員会報告	臨床スポーツ医学会におけるCOI管理	17:40	18:05	25分	
第2日 11月19日(日)						
No.	セッション	講演タイトル	開始時刻	終了時刻	所要時間	聴講
26	シンポジウム8	メガイベントに向けた我が国のアンチ・ドーピング体制の構築	8:50	10:20	90分	
27	シンポジウム9	スポーツ外傷に対する高気圧酸素治療の基礎と臨床の根拠	8:50	10:20	90分	
28	シンポジウム12	スポーツマウスガードの効果・効能を語る	8:50	10:20	90分	
29	シンポジウム10	パラ陸上を支える医科学	10:20	11:50	90分	
30	シンポジウム13	サッカーの現場で役に立つ足関節捻挫の診断と治療	10:20	11:50	90分	
31	シンポジウム15	アスリートにおける妊娠期、産後期トレーニングをどうするか？	10:20	11:50	90分	
32	特別講演2	日本におけるスポーツ外傷・障害の現状と将来に向けての取り組み －スポーツドクター・トレーナーは何をなすべきか－	10:30	11:30	60分	
33	ランチョンセミナー6	オリンピック時代におけるスポーツ選手の頭頸部外傷管理－これでいいのか日本！－	11:40	12:40	60分	
34	ランチョンセミナー7	ACL再建術後のリハビリテーション	12:10	13:10	60分	
35	ランチョンセミナー8	アスリートの運動器治療最前線・バイオロジクス治療への期待－	12:10	13:10	60分	
36	ランチョンセミナー9	骨の成熟と老化を科学する－若年から壮年期における「骨質」の評価と治療の最前線－	12:10	13:10	60分	
37	招待講演2	Emergency Medical Services Provision at the Olympic Games	13:20	14:20	60分	
38	シンポジウム11	スポーツ脳振盪への新たな対応 ～第5回国際スポーツ脳振盪会議(2016, ベルリン)を経て～	13:20	14:50	90分	
39	シンポジウム14	こどもの肘を守る。少年野球における肘障害予防	13:20	14:50	90分	
40	教育講演6	「スポーツ医学」と「スポーツ整形外科」	14:30	15:30	60分	
41	日本スポーツ栄養学会 合同シンポジウム	東京2020を見据えたスポーツドクターと公認スポーツ栄養士の連携	15:00	16:30	90分	
42	パネルディスカッション2	成長期の野球における投球制限やルール改革－現場とのコンセンサスを得るために－	15:00	16:30	90分	
43	教育講演7	サッカー現場での判断について	15:40	16:40	60分	

氏 名 _____

合計 _____ 分

※ 合計 240 分以上の聴講が必要です。